

ブレインバンクに献体をご了承頂いたご家族皆様へ  
(研究に関する情報)

当院ならびに関連施設では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、研究への協力を希望されない場合は、下記に記載されている研究の担当者までお知らせください。なお、研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否ができ、そのために診療上で不利益を被ることはありません。

研究課題名	新規アルツハイマー病糖鎖マーカーの開発 (福祉村病院倫理委員会承認番号#409)
当院の研究責任者	福祉村病院長寿医学研究所 研究員 赤津 裕泰 (名古屋市立大学医学研究科 教授)
他の研究機関および各施設の研究責任者	公立大学法人福島県立医科大学 教授 橋本康弘
本研究の目的	我々は、髄液中にユニークな糖鎖修飾を持つ糖タンパク質を見出した。この分子はアルツハイマー病(AD)及び軽度認知障害の患者髄液で増加していた。また、既存のADマーカーであるリン酸化タウやA $\beta$ 40と相関を示し、AD病理との関連が示唆された。本研究では新たに見出された糖タンパク質マーカーのAD脳での発現解析を目的とする。新たなADマーカーの確立が期待される。
対象者該当期間	福祉村ブレインバンクに保管されている全症例。
研究の方法	<b>Braak</b> 分類の異なる脳組織を用いて、本マーカーの発現細胞を遺伝子・タンパク質レベルで解析する。 1) 凍結標本を用いた生化学的解析 ・qRT-PCRによるコアタンパク質メッセージの定量 ・マーカー糖鎖に特異的なレクチンによる検出を行うELISA法でのターゲット糖タンパク質の定量 ・質量分析法による糖鎖構造の確認 2) ホルマリン固定パラフィンブロック組織切片を用いた組織学的解析 ・in situ hybridizationによるコアタンパク質発現細胞の同定 ・コアタンパク質に対する抗体染色 ・マーカー糖鎖に結合するレクチンを用いた染色 ・抗リン酸化タウ抗体による染色 ・抗A $\beta$ 抗体による染色
個人情報の取扱い	長寿医学研究所個人情報管理者によって適切に管理される。
お問い合わせ先	名古屋市立大学大学院 医学研究科 地域医療教育学(秘書宛) 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 TEL 052-853-8527 (内線 8527)

備考	
----	--